

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成31年4月8日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4690100641
法人名	株式会社 ケイシン
事業所名	グループホーム かごしま西太陽の家
所在地	鹿児島県鹿児島市西別府町2794-185 (電話) 099-296-1110
自己評価作成日	平成31年3月19日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成31年3月30日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

○職員は入居者様と共に泣き笑い、自然の中で花や野菜を育て穏やかな生活が過ごされるよう支援しています。
○入居者様が一日を安心して過ごされ、自分らしく思いを伝えられるよう、敬意穏やかな気持ちで接するよう心がけています。
○最期の時まで、大事な時間を大切に支援しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当事業所は、公園に植えられた桜や樹木、近くの竹林等、自然豊かな環境の静かな住宅地で、利用者は近隣住民に見守られながら穏やかに過ごしている。
- ・職員は利用者とゆっくり話を聞く時間を取り、思いに沿ったケアに取り組むことを大切にしている。
- ・協力医療機関との24時間医療連携及び事業所の看護師による健康管理が行われており、家族の安心となっている。
- ・管理者は、早出・日勤・遅出の勤務時間を必要に応じて導入することで、利用者の状況に応じた必要なケアを確保すると共に職員の負担軽減を図っている。
- ・計画的な研修受講や資格取得の支援、毎月の勉強会により、職員のレベルアップに取り組んでいる。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	法人、事業所の理念に沿った介護支援をおこなっている。ミーティング、勉強会を実施し実践につなげている。	事業所全体の理念を基に、グループホーム独自の理念もある。理念を玄関・通路に掲示し、ミーティング時に確認している。年度毎に事業所と各職員の目標を立てて、日々の申し送りやミーティング時に、理念及び目標に沿ったケアの実践について振り返っている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の行事や、催し物に参加し、地域の方々との交流をしている。	自治会に入会し、清掃作業へは施設からも出向き、夏祭り・グラウンドゴルフ等の見物をしている。大学生の実習受け入れをしている。近隣住民からの野菜の差し入れや畑作業時の声掛けもあり、日常的な近所付き合いをしている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	地域の方々の、認知症に関する相談や悩みを受けている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営計画、事業内容報告をし意見交換をおこなっている。ご家族、地域の方に参加していただいている。</p>	<p>会議を定期的に行い、事業所のヒヤリハットを含めた報告と意見交換を行っている。地域住民の参加もあり、団地の中でグループホームへの理解を得る機会となっている。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。</p>	<p>連絡、相談は密におこなっている。事故報告は速やかにおこない、指示をいただいている。</p>	<p>市の担当者には開設時から出向いて報告・相談し、助言等を運営に活かしている。生活保護担当者とも同様である。市の研修会や集団指導に出席し、市や他事業所との情報交換の機会にもなっている。介護相談員も受け入れている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>施設内での勉強会や、外部研修へ参加し、正しい理解、意識付けに努めている。身体拘束の禁止事項を日々の業務の中でも確認している。</p>	<p>マニュアルを基に委員会を毎月実施し、勉強会は年1回行っている。外部研修後に伝達研修を実施したり、言葉遣いも取り上げて注意している。昼間は玄関の施錠はせず、職員の見守りで自由な生活を支援している。外に出て行く利用者には、見守りや一緒に散歩で対応している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	勉強会、研修等で虐待についての知識、理解を深めている。日々の業務の中でも話し合いをもち、情報を共有し虐待につながらないように心掛けている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	勉強会、研修等で学び、理解に努めている。成年後見制度を利用の入居者様がおられ、実際に後見人の活用を支援している。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	入居時にご家族様へ説明をおこなっている。不明、不安な点には誠心誠意対応させていただいている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	苦情、意見受付箱を設置している。ご家族様の面会時、家族会などで意見や要望をお聞きしている。ミーティング、日々の申し送り等で職員に周知し、本社へも報告し運営に反映している。	利用者には、介護相談員との面談や日常の会話で意見等を聞いている。家族には年2回行事を兼ねて家族会を実施し、家族のみの時間も設けている。外出の機会を増やしたり、玄関への職員の写真掲示や行事の際に職員はネームを付ける等、家族の要望を反映している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	申し送りや、定期的なミーティングにて意見交換や提案する場を設けている。日常的にも意見交換をおこなっている。月1回の管理者会議にて事業所の要望を代表者へ伝えている。	管理者は、申し送りやミーティング時に職員の提案等を聞いている。自己評価やアンケートを含め年2回実施し、個人面談に繋げている。個別相談は管理者が受けている。利用者の状況に応じて勤務時間の見直し等を行っている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	希望、要望ややりがい等については職員が管理者に伝えやすいような環境づくりに努めている。職員が働きやすい環境、条件になるよう代表者へも働きかけている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修には積極的に参加するよう働きかけている。質の向上に努めている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	近隣のグループホームの方と相談や情報交換をおこなっている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居者様の話に十分傾聴し、よりよい環境作り、信頼関係作りに努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族様からの相談、要望に誠意をもって対応している。不安なことには常に連絡がとれる体制にし安心していただけるように努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居者様、ご家族様の意見や要望、生活歴を参考にし、入居者様が必要とする時は、より良い支援が出来るよう努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	あたたかい雰囲気の中で、自宅に居るようなリラックスした環境作りに努めている。一緒に料理をしたり、洗濯物を干したり生活の場を共有している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族様へ入居者様の状態を常に報告出来るようにし、面会しやすい環境を整えている。ご家族様の思いを受け止め、あたたかな関係が築けるように努めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの場所を訪れたり、大切な方との面会を通じて関係が途切れないように支援に努めている。	面会の家族に対し個室に案内し話ができるように設定したり、居室でもお茶を出してゆっくりしてもらっている。自宅付近や駅周辺等へのドライブや家族の協力で花見や墓参り・外食・美容室・親戚宅訪問等に出かけている。手紙や電話の取り次ぎも行っており、関係が途切れないように努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	談話の時間を設け、レクリエーションを通じ入居様同士の交流をもっといただいている。会話困難、意思疎通が困難な方は職員が間に入り支援している。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	電話や、季節ごとの便りを出し関係を続けている。相談のお電話も対応している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	その方の思いに沿ったケアが出来るよう十分に傾聴している。職員やご家族様からも情報を聞き、入居様本位の思いの把握に努めている。	入浴介助や居室等で一人の時にゆっくり話を聞き、本人の思いを把握するようにしている。爪が伸びた時に本人から切ってほしいとの言葉が聞かれたり、ノートを準備して何でも書いてもらっている。困難な場合は、家族の情報等を参考に気持ちを汲み取るように努め、申し送りや記録等で職員の共有化を図っている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族様からの情報や、居宅介護支援事業所、病院等からの情報提供書を取り交わしたり、入居様からも生活歴、生活習慣などを伺い把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	心身の状況や体調の変化など健康に留意している。状況の変化に応じたケアが出来るよう介護計画を立て支援している。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人のニーズに合った介護支援が出来るよう、ご家族様との連携をとりながら、職員、主治医と話し合い柔軟な支援やサービスに努めている。	面会時に担当者会議を実施し、主治医の意見を参考にして介護計画を作成している。モニタリングを3ヶ月に1回実施し、計画の変更は6ヶ月毎及び状況変化時等に行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>個人経過表など日々の記録を残し、ミーティング、申し送り等で情報を共有しながら支援につなげている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>ご家族様と連携をとりながら、職員間で情報を共有し、入居者様のニーズに合った介護支援が出来るよう柔軟なサービスにつなげている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>自治会に加入し地域の行事に参加している。入居者様が社会と触れ合っ楽しんで過ごすことができるよう支援している。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるよう支援している</p>	<p>入居者様、ご家族様の希望をうかがい、かかりつけ医受診の支援をしている。医療機関との連携をとり、適切な医療が受けられるよう支援している。</p>	<p>本人・家族の希望するかかりつけ医の受診を、家族の協力を得て支援している。月2回の往診や皮膚科・歯科の訪問診療を受けたり、24時間の医療連携や事業所看護師の健康管理で適切な医療が受けられるよう支援している。緊急時の職員対応の際は、結果を家族に報告している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	心身の状態、バイタルの変化等日常の様子を申し送り、介護記録等で的確に伝わるようにしている。入居者様の状態に応じて適切な受診や看護を受けられるよう支援している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	情報提供書を取り交わしたり、電話などで早期対応に努めている。各医療機関の相談員と日頃から連携をとり、関係づくりに努めている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化や終末期に向けた方針を説明し、早期に入居者様のご家族、医療機関と話し合いを持ち、意思を尊重しつつ適した対処と尊厳を持って介護にあたるよう取り組んでいる。	契約時に重度化等の場合の対応について説明し、同意書をもっている。重度化等の場合、主治医から家族への説明後、家族の意向を確認している。医師・家族・職員・訪問看護ステーションとの連携・協力で、家族の意向に沿って支援に取り組んでおり、看取りの実績がある。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	避難訓練、普通救命講習、救急車要請訓練、勉強会等を取り入れ、職員が柔軟に対応出来るよう努めている。消防署の消火訓練や応急手当の指導も受けている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>避難訓練を定期的におこない、職員が柔軟に対応できるように努めている。年2回の消防署との消火訓練などの指導も受けている。</p>	<p>年2回の地震・火災避難訓練を、消防署の立ち会いで昼夜想定で実施している。住民には総会時に参加協力を依頼しており、災害時等の法人内の協力体制もある。災害時の備蓄は、水・カップ麺・スープ・缶詰等の食料やカセットコンロを確保している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>自尊心を傷つけないよう優しい声かけ対応に心がけている。</p>	<p>研修を実施し、一人ひとりに応じた言葉遣いを心がけている。さん付けでの呼びかけや入室時の声かけ・ノック、入浴時の同性介助等、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。申し送り時は、名前を出さずにABCを用いてプライバシーを確保している。</p>	
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>入居者様の希望を聴くことの出来る環境づくりをし、入居者様の思いに沿ったケアを心がけている。自己決定できるよう支援している。</p>		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>何がしたいのか話をする時間をつくり、入居者様の思いに寄り添った支援をしている。</p>		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している</p>	<p>好みをうかがい、その日にあった服装をしていただいている。清潔保持できるよう支援している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	料理本を見たり、好みの料理を聞きだしている。行事にはひと工夫し、郷土料理を取り入れたりしている。片付け、下準備を一緒にしていただいている。	職員が好みを聞いて、旬の野菜や果物を使って献立を作成している。個々に応じた食事形態で提供している。下ごしらえや片付け・食事を職員と一緒にしている。誕生日の好物・季節の行事食・おやつバイキング・花見のお茶飲み等、食事を楽しんでもらえるよう工夫して取り組んでいる。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養バランスのとれた食事を提供し、食事量、水分量の把握に努めている。一人一人の摂取状況に応じた支援をしている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、口腔ケアをしていただき、清潔保持に努めている。必要に応じ歯科医より定期的な往診を受けていただいている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	お茶や食事の前に、トイレへの声かけをし排泄支援をおこなっている。その方に排泄に応じた支援をおこなっている。	排泄チェック表で個々の排泄パターンを把握し、声かけや誘導・介助でトイレでの排泄を支援している。排泄用品は個々に応じて検討し、失敗を減らす為に布パンツからリハビリパンツとパット使用に変更することもある。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分や牛乳を摂っていただいたり、腹部マッサージをしたりし便秘予防に取り組んでいる。個々の排便のパターンを把握するように努めている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	本人のタイミングや、その日の体調に合わせて、無理をしない入浴支援をしている。	週3回の入浴を基本に午前中に実施している。希望があれば毎日の入浴も可能であり、体調により清拭や足浴を実施したり、保清目的のシャワー浴も実施している。同性介助も実施し、個浴をゆっくり楽しんでいる。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	散歩やレクリエーション等を取り入れ、生活のリズムを整え、安眠や休息がとれるよう支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個々の服薬状況を把握し、薬の目的、副作用、用法や容量について理解し誤薬が無いように努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	調理の下ごしらえ、買い物、散歩、談話、畑作業を取り入れ、気分転換等の支援をしている。		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	事業所の周りの散歩や、希望の方にはドライブや買い物等の戸外に出かけられるよう支援している。ご家族の方の協力を得ながら、外出や外泊も支援している。	日常的に、近隣や畑・公園への散歩をしたり、その日の天気や希望で、ドライブや買い物等に出かけている。計画を立てて、健康の森公園での季節の花見や外出・外泊もあり、出たがらない利用者にも声かけして、できるだけ閉じこもらないよう支援している。	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	お金を所持することで安心される方には見守り支援している。		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	電話や手紙のやり取りの希望がある方は支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	四季に合わせた壁面を工夫し、憩いの場として支援している。換気をし、清潔な環境を提供しアロマオイルでリラックスしていただいたり工夫をしている。	広いホールは採光が十分で明るく、木造の広いテラスがあり、自由に入出りができ開放的な空間である。手作りの壁飾りがあり、窓からの景色で季節を感じられる。癒し効果のあるアロマオイルやモルモットを飼って、ソファや廊下の椅子で居心地良く過ごせるように工夫している。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	気の合う方との居室でのテレビ鑑賞や談話、一人でゆっくり過ごされる時間帯、思い思いに過ごされることが出来るよう居場所の工夫をしている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	思い出の品物や家具、ご家族の写真などを居室に置いて過ごしていただいている。	電動ベッドや洗面台・タンス・エアコンが居室に備えてあり、本人の好みで、タンスやテレビ・衣装掛け・仏壇・寝具を持ち込み、写真やぬいぐるみ・手作り作品・化粧道具等を身近に置き、本人らしい部屋で安心して過ごせるようにしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	各居室入口に名前の表示をし、トイレや浴室は安全で安心して自立した生活がおくれるよう工夫している。廊下やトイレは手すりがあり、安全に過ごしていただけるよう工夫している。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない